



基幹バスシステムの導入に向けた 取組について

沖縄県公共交通活性化推進協議会
令和6年9月10日（火）



目 次

1. 令和6年度基幹バスシステム導入に向けた検討について
2. バス事業者との連携について
3. 沿線5市村との連携について
4. 西普天間交通対策WTについて
5. バスレーン延長WTについて
6. わった～バス利用促進乗車体験事業について



1. 令和6年度基幹バスシステム導入 に向けた検討について

1-1 令和6年度の検討方針（案）



沖縄県公共交通活性化推進協議会

（目的）

公共交通の活性化及び再生を推進し、渋滞緩和や公共交通利用促進に寄与する、那覇市～沖縄市間への基幹バスシステムの導入

県の役割

- ・基幹バス導入に向けた検討及び、各関係機関の取り組みを取りまとめオーソライズ等

市町村の役割

- ・基幹バスと連携したまちづくり、拠点整備の検討等

国の役割

- ・道路管理者としての対応等
- ・公共交通利用促進

事業者の役割

- ・バス網再編、運行管理等

対外的なPRの取組

- ・褒章取組推進による内外へのPR
- ・授賞式、セッション発表等での情報発信
- ・県民、関係者等への情報発信、機運醸成等



情報共有

継続して取組

基幹バスシステム導入に向けた取組

バスレーン延長に向けた取組

バス事業者との連携（勉強会）

（目的）

路線バスのサービス水準向上及び定時性向上等に向けた検討

県の役割

- ・サービス水準向上、定時性向上に向けた取組について、事業者との合意形成

事業者の役割

- ・施策に対する事業者としての意見・課題出し

継続して取組

沿線5市村との連携（勉強会）

（目的）

基幹バスシステム導入に向けた沿線自治体との連携した取組検討

県の役割

- ・基幹バスシステム導入に向けた施策の取組について、自治体との合意形成

自治体の役割

- ・公共交通、沿線まちづくり、結節点等に対する意見・課題出し

継続して取組

西普天間交通対策WT

※沿道住民等との合意形成に向けた取組みの一環

（目的）

西普天間開発に伴う影響把握と必要な交通対策についての調整・進捗確認等

県の役割

- ・西普天間開発等に伴う影響分析
- ・必要な交通対策等の提案、調整

琉球大学・宜野湾市の役割

- ・交通施策の検討、調整、推進

継続して取組

バスレーン延長WT

※活性協下部組織の位置付け

（目的）

バスレーン延長に向けた検討

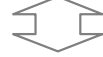
県の役割

- ・バスレーン延長に向けた施策の検討実施・関係者との合意形成

道路・交通管理者の役割

- ・施策に対する意見・課題出し

継続して取組



連携

1-2 令和6年度のスケジュール（案）

項目	～7	8	9	10	11	12	R7.1	2	3
基幹バスシステム導入に向けた取組									
(1)バス事業者との連携（勉強会）		利便性向上策、定時性向上策、バス網効率化等							
			第1回勉強会		事例調査	第2回勉強会		第3回勉強会	
(2)沿線5市村との連携（勉強会）		5市村における街づくりと基幹バスシステムの交通結節点の取組促進等							
				第1回勉強会					
バスレーン延長に向けた取組									
(1)西普天間交通対策WT	西普天間開発に伴う影響検討及び交通対策の検討・調整								
	第1回(5/27) 西普天間交通対策WT	第2回(8/26) 西普天間交通対策WT	※西普天間交通対策WT開催は複数回／年度を想定						
			地域医療関係者会議への報告(9/2)				琉球大学病院移転（R7.1～）		
(2)バスレーン延長WT	バスレーン延長に向けた実証実験等の検討、総合的な施策の検討等								
					第1回 バスレーン延長WT			第2回 バスレーン延長WT	
地域公共交通総合連携計画全体の推進									
(1)連携計画協議会開催			幹事会 協議会 ★★						幹事会 協議会 ★★



2. バス事業者との連携（勉強会）について

- 基幹バスシステム実現に向けては自動車からバスへの転換を促しバス事業の利便性向上等を図ることが重要である。このため、**バス利便性向上策**として、「**バス時刻表の統合**」（継続実施）、「**通勤定期券利用率向上のための方策**」（今年度から実施）、「**遅延証明書のHPでの発行可能性検討**」（今年度から実施）を、また**定時性向上策**としては昨年度に引き続き「**乗降方法の変更**」に関するテーマで**バス事業者との勉強会を実施**する。
- さらに、基幹バスシステム導入のための環境整備や交通結節点整備の動向を見据えた中で、段階的なバス網効率化に向けた検討も重要であるため、今年度は**運転手不足等による限られた運行リソースも踏まえ**ながら、**バス網効率化に向けた課題や方向性等をテーマに勉強会を実施**する。

バス事業者との勉強会のテーマ等

	利便性・定時性の向上に向けて	バス網効率化・交通結節点整備に向けて
第1回 (9月)	1)R5年度勉強会の振り返り 2)R6年度勉強会の検討方針（案） ・バス時刻表の統合の進め方（案）：統合システムの構築、実証運用（広報含む）、検証 ・乗降方法の変更の進め方（案）：部分運用の取り組み方、事例調査、部分運用計画 ・通勤定期券利用率向上、遅延証明書HP発行の進め方：現状の問題点整理、事例調査、期待効果 ・バス網効率化策の今後の進め方（案） 3)事例調査について（意向確認）	
第2回 (12月)	1)統合バス時刻表：システム検討の中間報告等 2)乗降方法の変更：事例、部分運用の取り組み方検討等 3)通勤定期券利用率向上：事例、課題等 4)遅延証明書のHPでの発行可能性検討:事例、課題等	○基幹バス周辺既存バス網の現状と課題の共有 1)輸送密度、区間利用者数、系統重複等の視点で課題等を整理 2)運転手不足を踏まえたバス走行キロを踏まえた問題、課題を整理
第3回 (2月)	1)事例視察報告 2)統合バス時刻表：試行の報告等 3)乗降方法の変更：部分運用の運用計画等 4)通勤定期券利用率向上：期待効果、実現化に向けた課題等 5)遅延証明書のHPでの発行可能性検討：スキーム案、実現化に向けた課題等	○基幹バス周辺バス網効率化に向けた方向性案 1)バス網効率化の方向性 2)バス網効率化に向け考えられる交通結節点の配置の方向性

(利便性向上策・定時性向上策のイメージ)

1) バス時刻表の統合に向けた検討

- R5年度に、統合時刻表のフォーマットとバス運行情報データ（GTFSデータ）の提供について合意した。
- R6年度は、GTFSデータから統合時刻表を生成するシステム等を構築し、実証運用を行う。



2) 乗降方法の変更に向けた検討

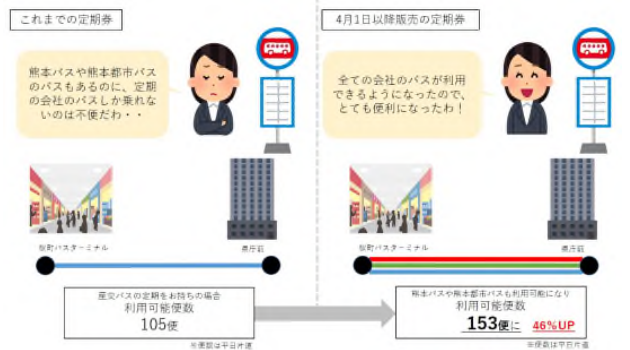
- R5年度に、乗降方法の変更による時間短縮効果の試算を得た（基幹急行バス 約2分/便）。
- R6年度は本格実施に向けて他地域での事例を基に課題解決方を整理するとともに、スモールスタートしていくための条件整理に取り組み、今後の部分運用計画を検討する。



3) 通勤定期券利用率向上のための方策検討

- 既存調査では、バスを利用しない理由やバスへの改善要望に「回数券の復活」（バス事業者間で利用可能）を望む意見が多々みられる。
- このための、現状の定期券に関する問題点や課題について既存調査等を活用して再整理するとともに、解決策についての事例調査を行う。

共通定期券イメージ（資料：熊本共同経営）



4) 遅延証明書のHPでの発行可能性検討

- 渋滞等による遅延が生じた場合、遅延証明書の発行があるが、沖縄では営業所での発行のみとなっており、実質的に利用しにくい状況にある。
- 現在のサービスをもっと利用しやすくする方策として、WEBでの発行が考えられる。他事業者の取組事例等を収集し、有効性と導入にあたっての課題等を整理する。

延着証明書WEB発行（資料：国際航業株）

延着証明発行

国際興業株式会社

発行条件を入力してください

②乗車停留所・降車停留所・乗車日時を入力

区間

乗車停留所

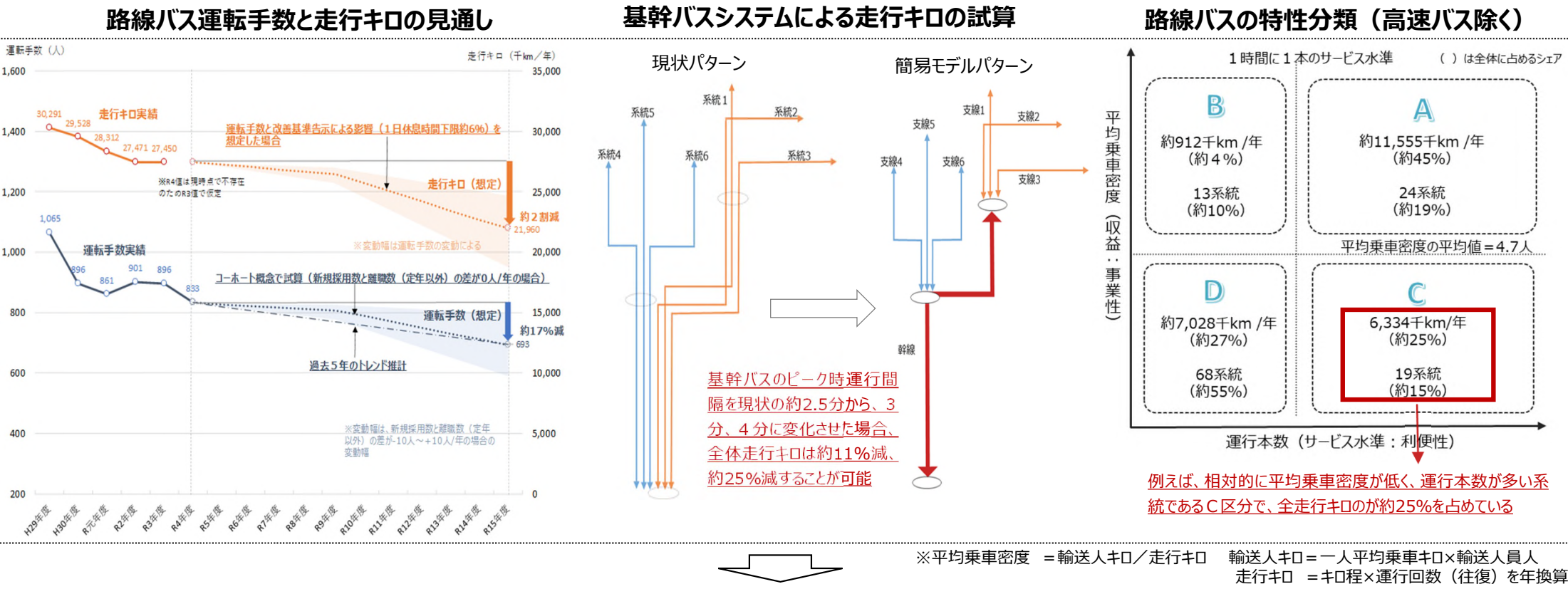
降車停留所

乗車日時

2022年7月19日 7 時 30 分頃

2-3 バス網効率化や交通結節点に向けて

- 昨年度は、**運転手不足の見通し**等を踏まえ、概ね10年後に**路線バスの走行キロが約2割減少した場合を想定**した影響を試算し、**限られるリソースで利便性と事業性双方が確保可能なバス網効率化の重要性**が伺えたところである。
- また、**基幹バスシステムを想定した場合の簡易モデル**で検討したところ、**支線系統のサービス水準を維持し幹線系統のピーク時運行間隔を現状の約2.5分から、3分、4分に変化させた場合**、**全体走行キロは約11%減、約25%減**することが可能と試算され、**基幹バスシステムによる少ない走行キロでの適応性がうかがえた**ところである。
- **今年度は交通結節点整備に向けた動向**も見据え、**国道58号を中心とした全てのバス系統を俯瞰し、系統別の輸送密度、バスOD調査から得られる区間利用者数、さらには各方面や地域サービスする系統重複等の視点等**から、**バス網効率化や交通結節点整備に向けた課題や方向性等を検討**していく予定である。



交通結節点整備に向けた動向も見据え、バス網効率化や交通結節点整備に向けた課題や方向性等を検討



3. 5市村との連携（勉強会）について

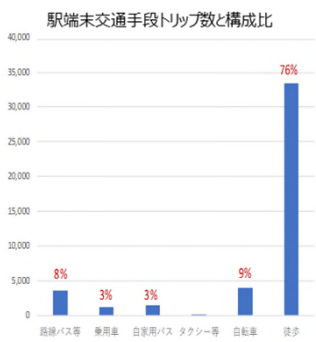
3-1 5市村勉強会の方針（案）

- ここ数年で本勉強会をはじめ交通まちづくりに関する重要性を共有する機会が増えたこともあり、**各自治体でも地域拠点や交通結節点に対する取組意識は高まりつつあるが、地域拠点とは何か？ また交通結節点とどう連携し、その際の役割・機能・規模等**について、更なる議論を深めることが重要である。
- 中南部都市圏の都市構造や土地利用、開発動向等に目を向けると、**近年は郊外型の大型商業施設を中心とした地域住民の買物行動等が多くなっている中、各自治体における地域拠点や交通結節点について、改めて確認を含めた議論**を行っていく。

過年度の勉強会の内容

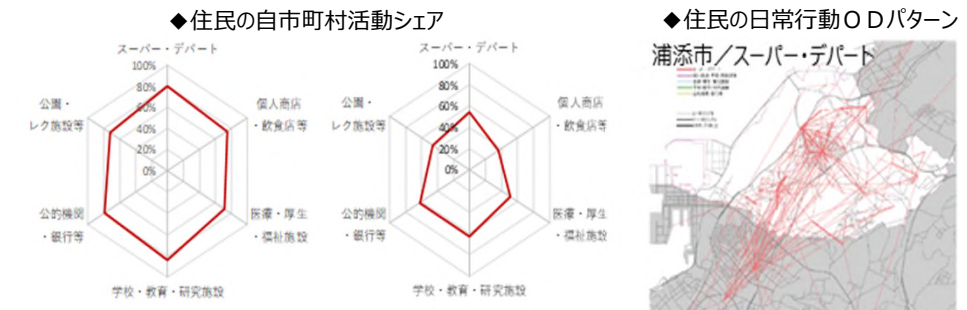
① 交通まちづくりと交通結節点の意義

- ・コンパクトシティと地域拠点づくり、土地利用形態と端末交通特性



② 5市村住民の日常生活行動

- ・都市サービスをどの自治体で享受しているか
- ・自市村内の生活行動パターンを踏まえどんな街づくりを目指すのか？



③ 交通結節点に関し想定される計画課題

- ・基幹バスを中心に考えた場合の課題
- ・5市村ごとの街づくり上の計画課題
- 求めるレベルや周辺まちづくりを踏まえ議論することの重要性

④ 交通結節点の整備手法や整備事例

- ・既存手法に加え、道路法に基づく事例紹介等

今年度の勉強会のテーマ（案）

① 大型商業施設の特性を改めて確認する

- ・住民の日常生活や地域振興にどのような効果・影響があるか？
→多様な生活機能支援、**クルマ中心のまちづくり・生活スタイルの定着等**
- ・周辺土地利用や交通結節点と一体性がある地域拠点との違い等
→施設内では賑わい、まちの個性、持続性、公共交通との関係等



② 地域拠点やその周辺に必要な機能は何か？

- ・地域に必要な住民日常生活機能は何か？
→どんな商業、医療、福祉、学習、生活支援等
- ・土地利用や交通結節機能はどんな姿か？
→住民の日常生活に併せた都市の姿と交通結節機能の姿
→大型商業施設と連携した場合の想定 等

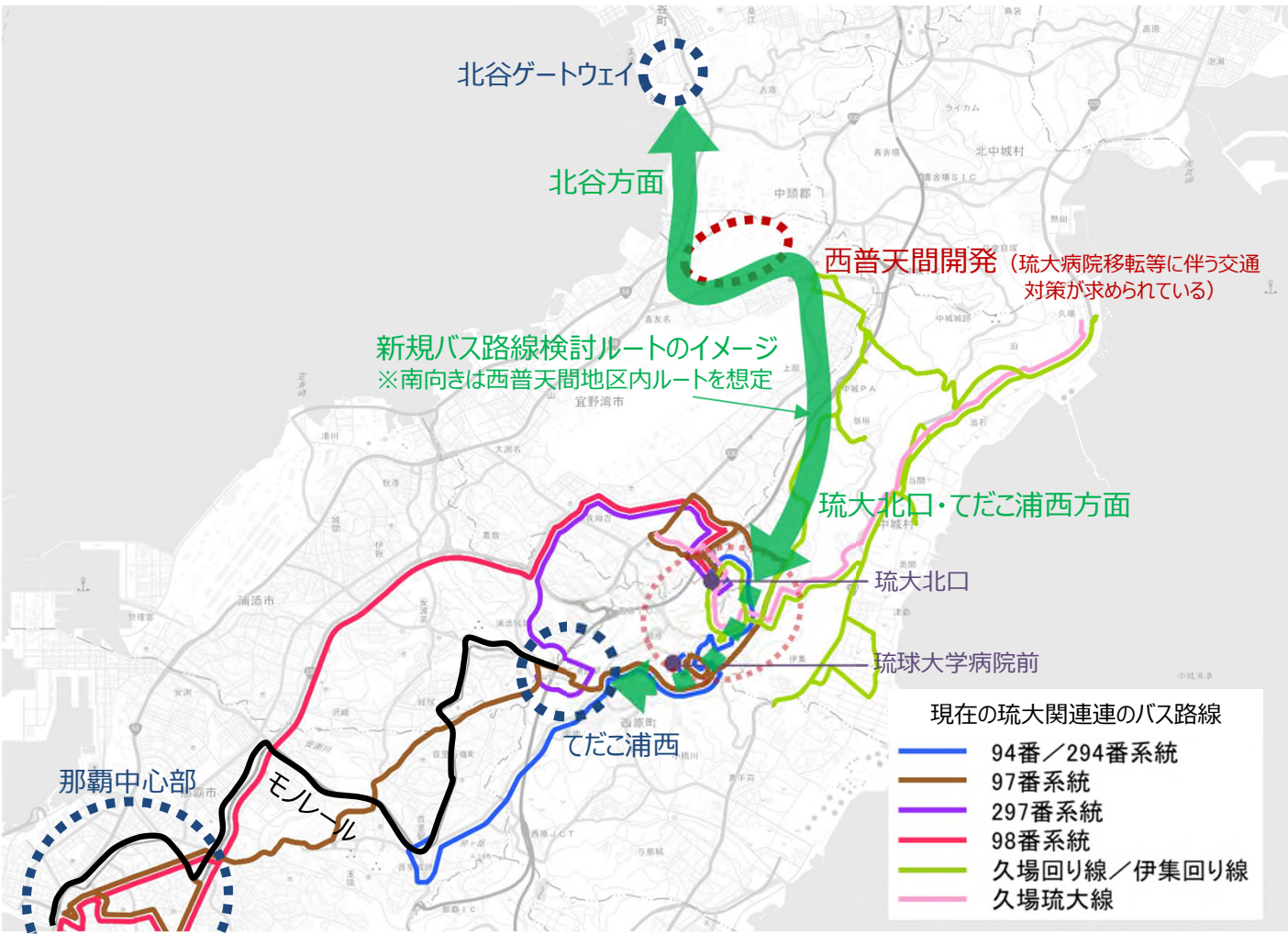


- 1)各地域で必要な或いは考え得る地域拠点とは何か？どのような拠点整備を目指すのか？
- 2)交通結節点にはどのような機能を考えていくか？
- 3)周辺土地利用、商業施設、公共交通等と連携したまちづくりとは？ 等をそれぞれで訴求していく機会

3-2 新規バス路線に関する取組について

- 現状では琉球大学病院や琉大北口まで、那覇やてだこ浦西駅からバス路線が運行されている。これまでの協議会での意見や、西普天間開発に伴う各種取組を踏まえた中で、沖縄県総合交通体系基本計画で示されている本島の骨格を形成する公共交通体系も視野に入れながら、各市村地域公共交通とも連携した新規バス路線について検討してきたところ。
- 新規バス路線については、北谷ゲートウェイへの結節も視野に今年度実証運行に向けた調整を進めつつあるが、琉大病院移転後の状況も踏まえつつ、琉大医学部の西普天間開学時（R7.4）に向けて検討・調整を続けていく。

新規バス路線の検討ルートイメージ（案）



北谷ゲートウェイの位置

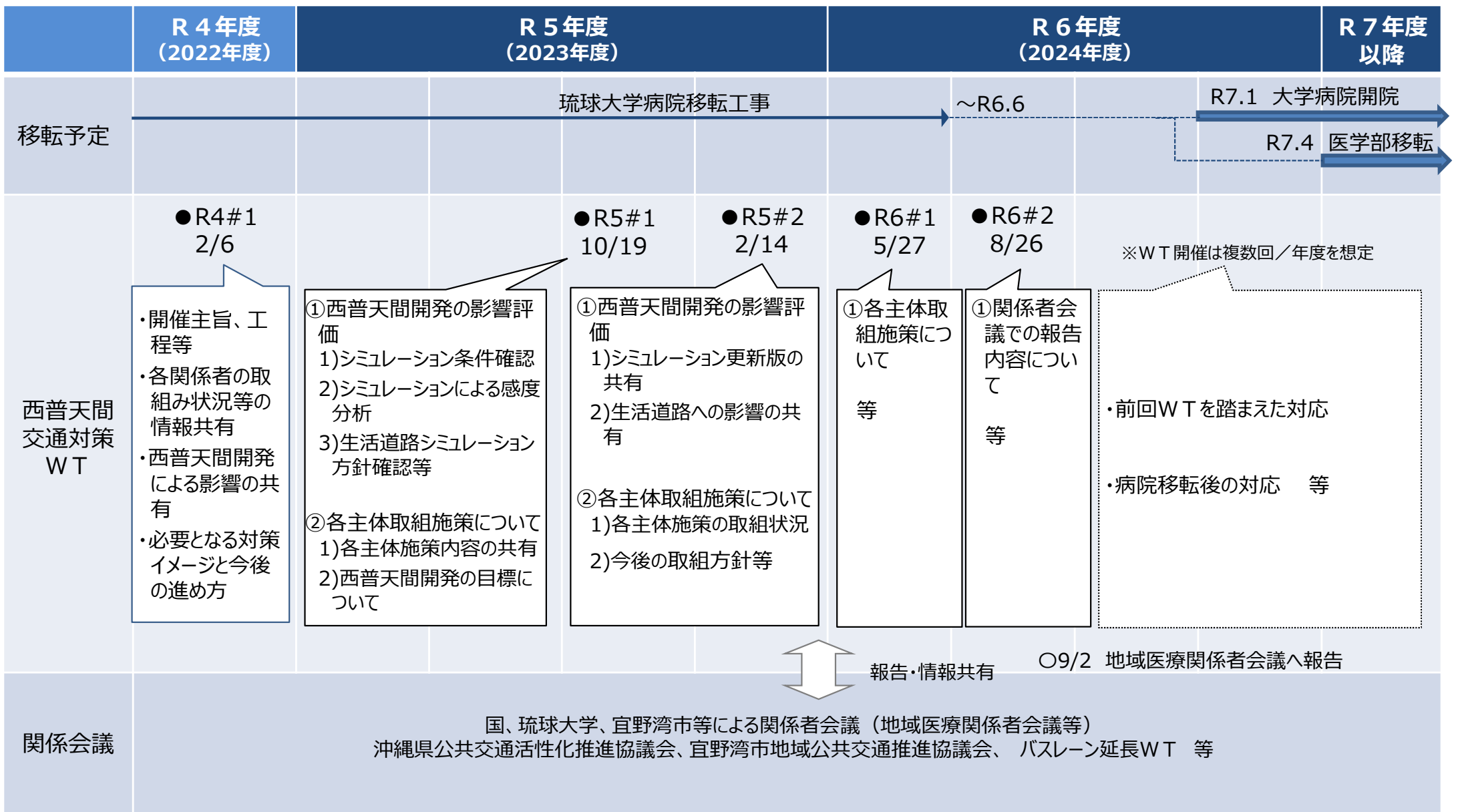




4. 西普天間交通対策WTについて

4-1 西普天間交通対策WTの工程

➤ 本WTは、今年度も継続的に実施し、西普天間開発の影響評価を精査しながら、各主体の取組施策を具体化していく予定

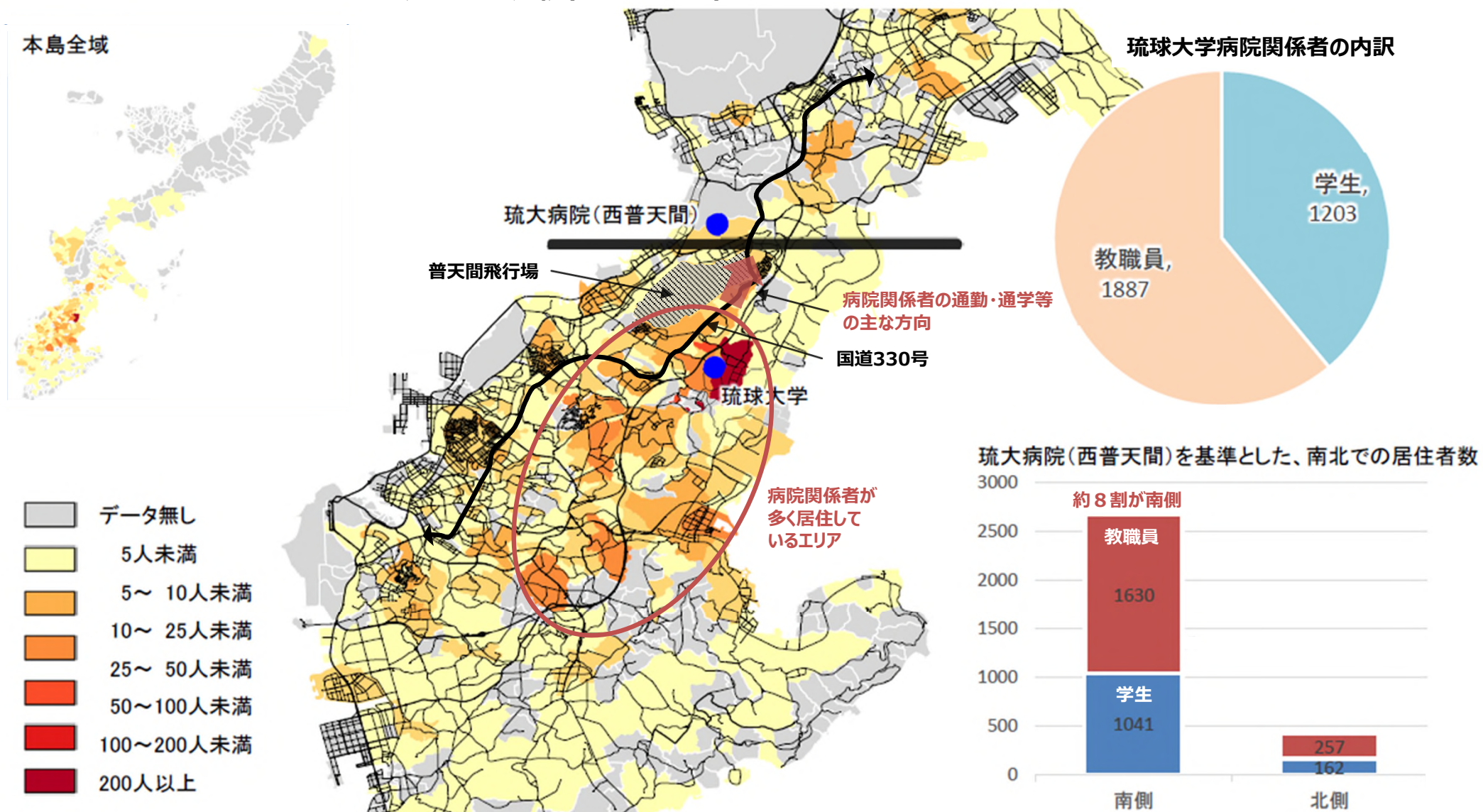


4-2 琉球大学病院関係者の居住地



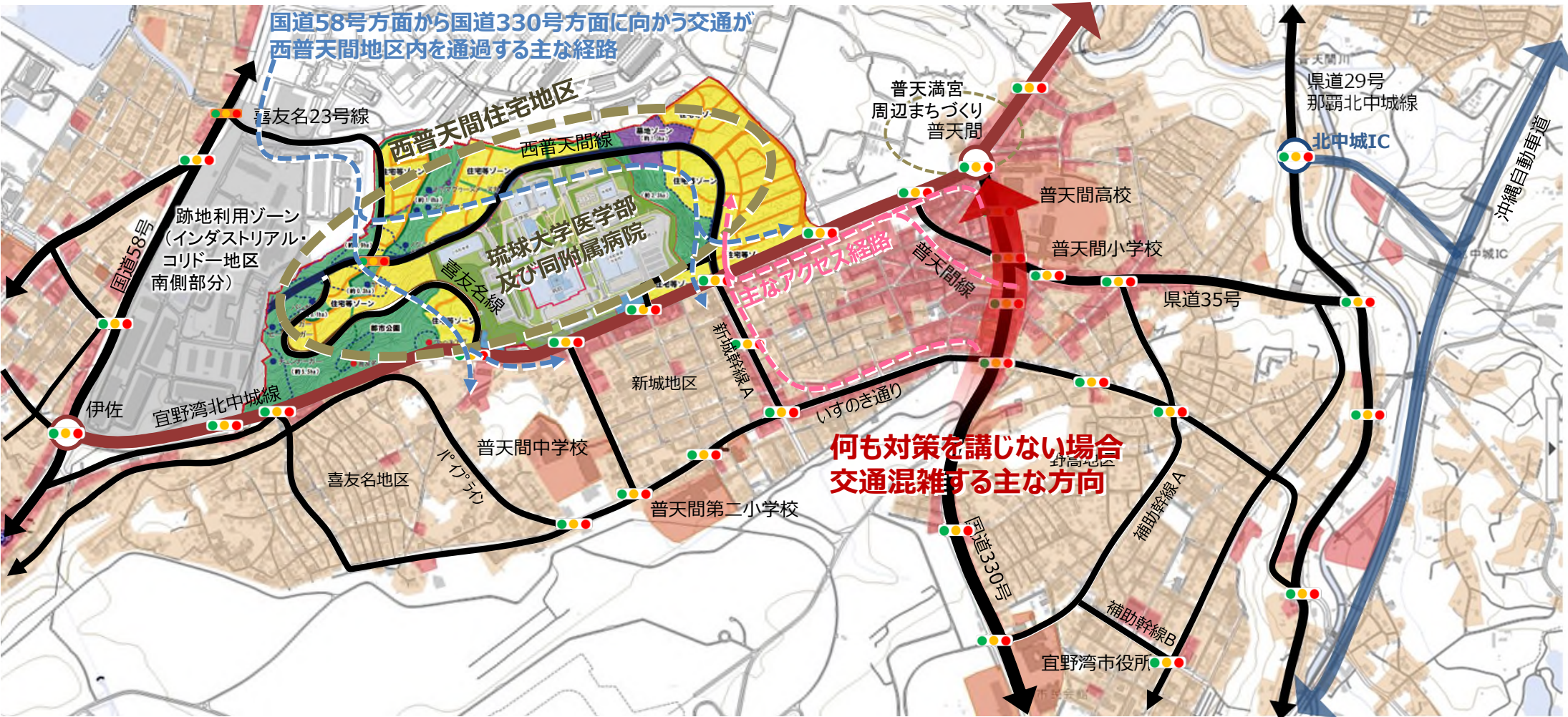
- **病院関係者（医学生、教員）3,090人**の内訳は、学生1,203人、教職員1,887人となっており、居住地分布は**普天間飛行場以南（特に現琉球大学周辺）に集中**している。
- **西普天間を境**にした病院関係者居住者の割合は、**南側が約 8 割**（2,671人）、**北側が約 2 割**（419人）となっている。

琉球大学病院関係者の居住地



4-3 西普天間開発による影響評価と取組

- 西普天間開発に伴う交通シミュレーションを実施したところ、**何も対策を講じなければ**、主に**普天間交差点に向け国道330号北向きの交通需要が増加することによる交通混雑**が一定程度発生する他、**周辺の市街地等へ通過交通が流入**することを確認。
- 上記の結果も踏まえながら、**必要な交通対策**（職員・学生・外来患者等に対する各種TDM、交差点運用改善、生活道路の交通安全対策、新規バス路線等）について、**琉球大学、宜野湾市、沖縄県が連携し検討・取組**を進めているところ。



4-4 西普天間周辺の交通対策への取組

- 西普天間開発に伴う、普天間交差点に向けた国道330号北向きの交通混雑に加え、周辺生活道路への通過交通の影響をシミュレーションで把握したところ、普天間交差点を起点とした渋滞を回避するため、**現況ほとんど車両が走行していない生活道路に車両が流入する恐れ**があることを確認した。
- これにより**住宅地の生活環境や小中学校周辺を含めた交通安全性の低下が懸念**されるため、**普天間交差点に関する交通対策**や通過交通の流入回避に向けた**生活道路の交通安全対策**について、**関係機関とともに検討**を進めているところ。

普天間交差点と主な周辺生活道路への影響



生活道路の交通安全対策の一例



警察による低速度規制
ゾーン30
ゾーン30
最高速度30km/hの区域規制

道路管理者による物理的デバイス設置

進入抑制対策



ライジングボード
ポールを昇降させ、交通規制が実施されている時間帯での車両の進入を抑制する構造物です。

速度抑制対策



ハンプ
路面をなめらかに盛り上げ、30km/h以上の速度で走行する車両の運転者に不快感を与える構造物です。



スムーズ横断歩道
車両の運転者に減速と横断歩行者優先の遵守を促す、ハンプと横断歩道を組み合わせた構造物です。



狭く
車道の通行部分を局所的に狭くし、車両の速度を抑制する構造物です。



シケイン(クランク型)
一定区間の道路を直線的に曲曲させ、車両の速度を抑制する構造物です。



シケイン(スラローム型)
一定区間の道路をカーブさせ、車両の速度を抑制する構造物です。



ゾーン30プラス
看板
(ゾーン30プラスの入口(岐阜県各務原市の例))
路面表示
進入抑制対策
速度抑制対策

4-5 普天間交差点に関する取組



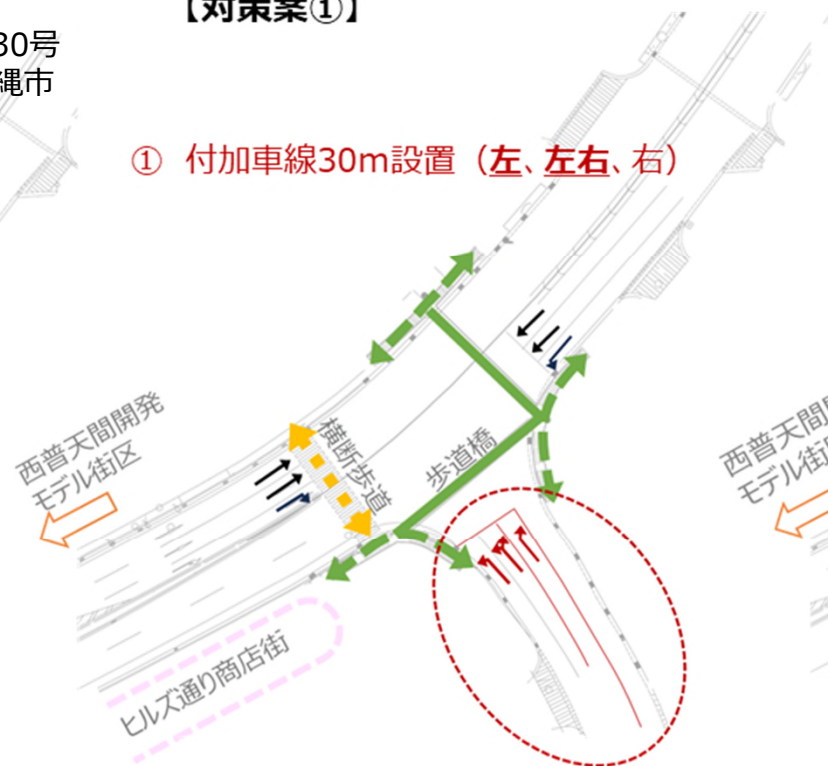
- 西普天間開発に伴う普天間交差点を起点とした交通混雑を踏まえ、**国道330号の普天間交差点北向き流入部**に対して、以下案で**シミュレーションによる影響評価や交通対策**を**関係機関を含め検討**しているところ。

【普天間交差点の現状】



【対策案①】

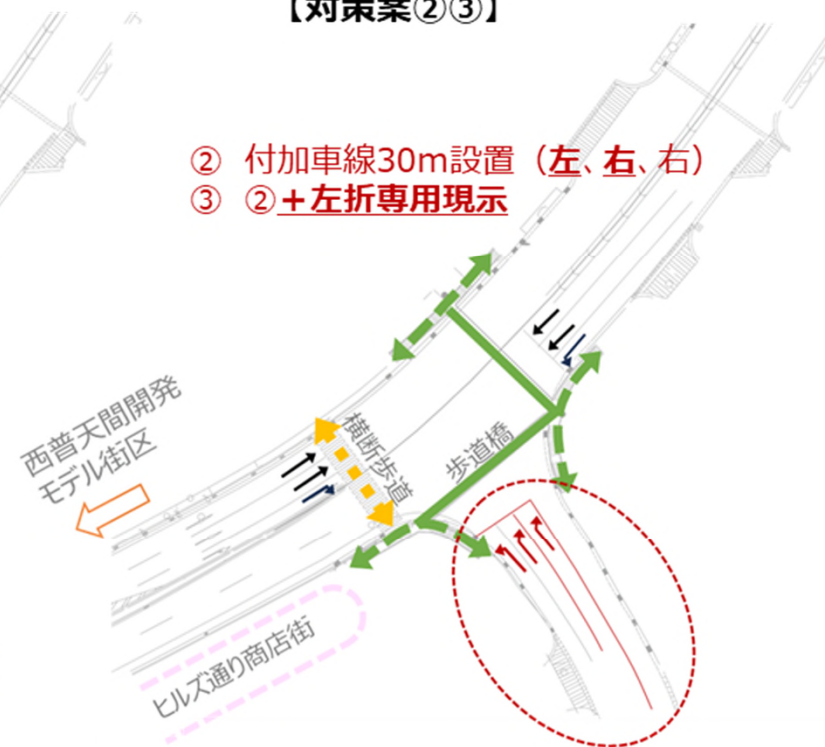
- ① 付加車線30m設置 (左、左右、右)



交通対策箇所

【対策案②③】

- ② 付加車線30m設置 (左、右、右)
③ ②+左折専用現示



交通対策箇所

4-6 交通の分散・誘導等に向けた事前周知

- 西普天間開発に伴う普天間交差点を起点とした交通混雑を踏まえ、**国道330号の普天間交差点北向き流入部に対する混雑見直し等を事前周知**することで、**国道58号を含めた他経路の利用及び利用時間帯の分散、公共交通利用の促進等を促す**ことが重要。
- このため、他経路への交通の分散・誘導等に向けた事前周知に向けた取組方法や内容等について、WTでの議論も踏まえつつ道路管理者等とも協議していく。

図 西普天間開発による交通量の増加率（7・8時台）

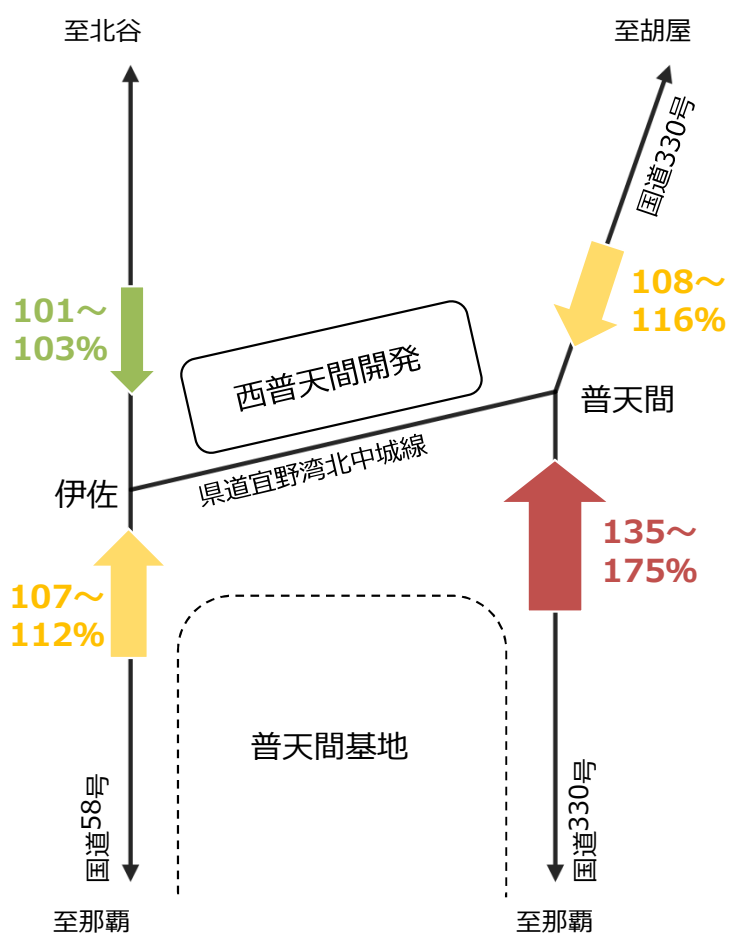


図 交通の分散・誘導の事例

（山形さくらんぼ狩り期の迂回誘導）

（浜名湖花博覧会の迂回誘導）

※上記は7時台と8時台の開発あり（対策を講じない場合）／開発なしの比率

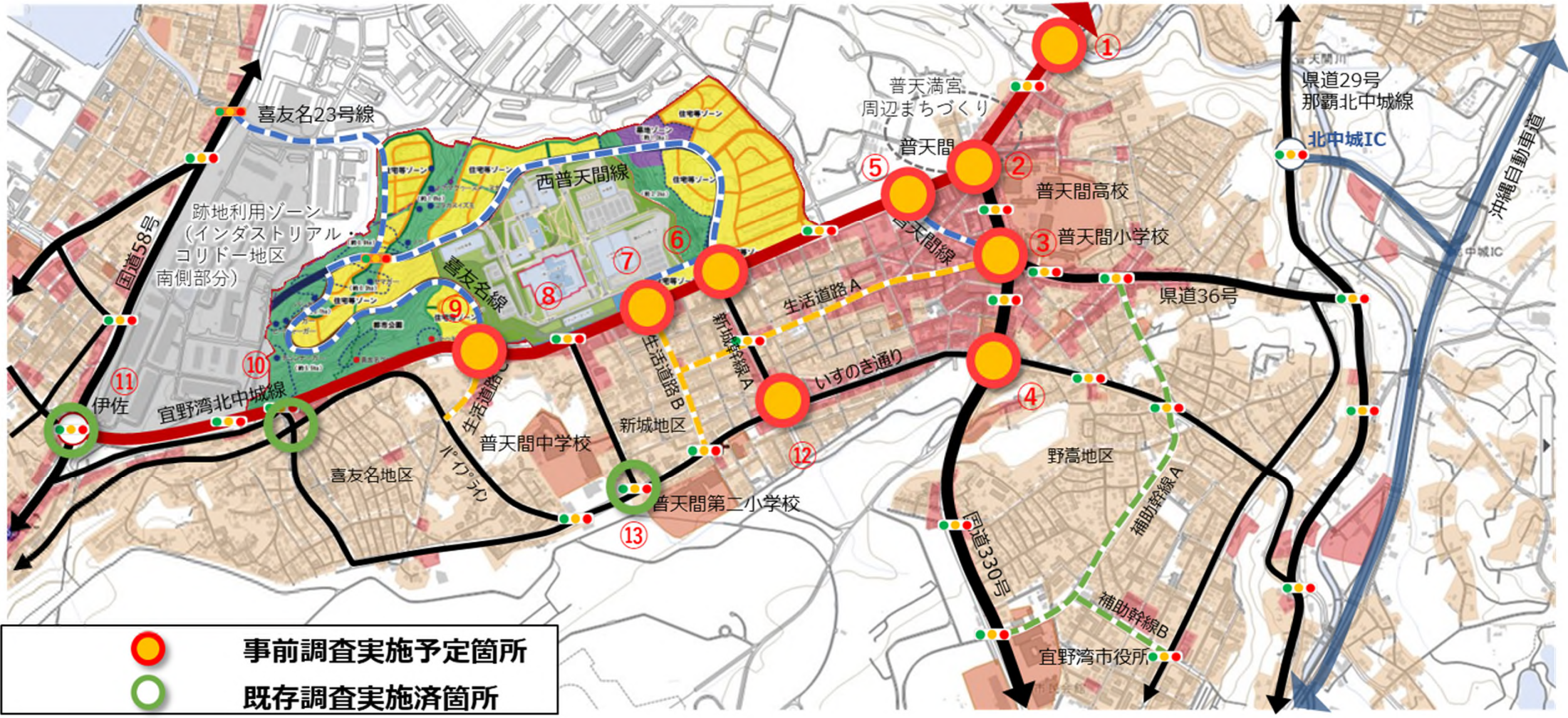
出典：東北地方整備局HP

出典：静岡県道路局SNS

4-7 西普天間開発の影響確認（事前調査）

➤ 西普天間地区への琉大病院移転後の影響を確認するため、移転前の交通状況を把握するための交通量調査等を関係機関とも調整しながら実施する。

図 西普天間周辺での事前調査箇所（予定）等



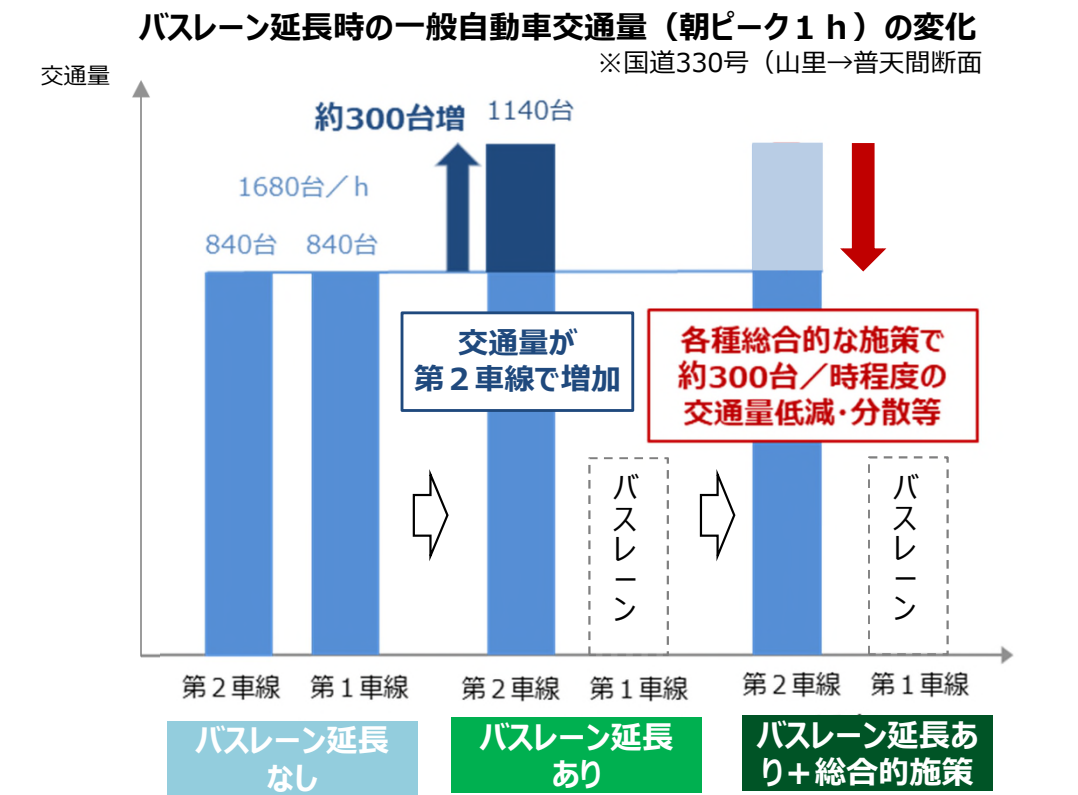
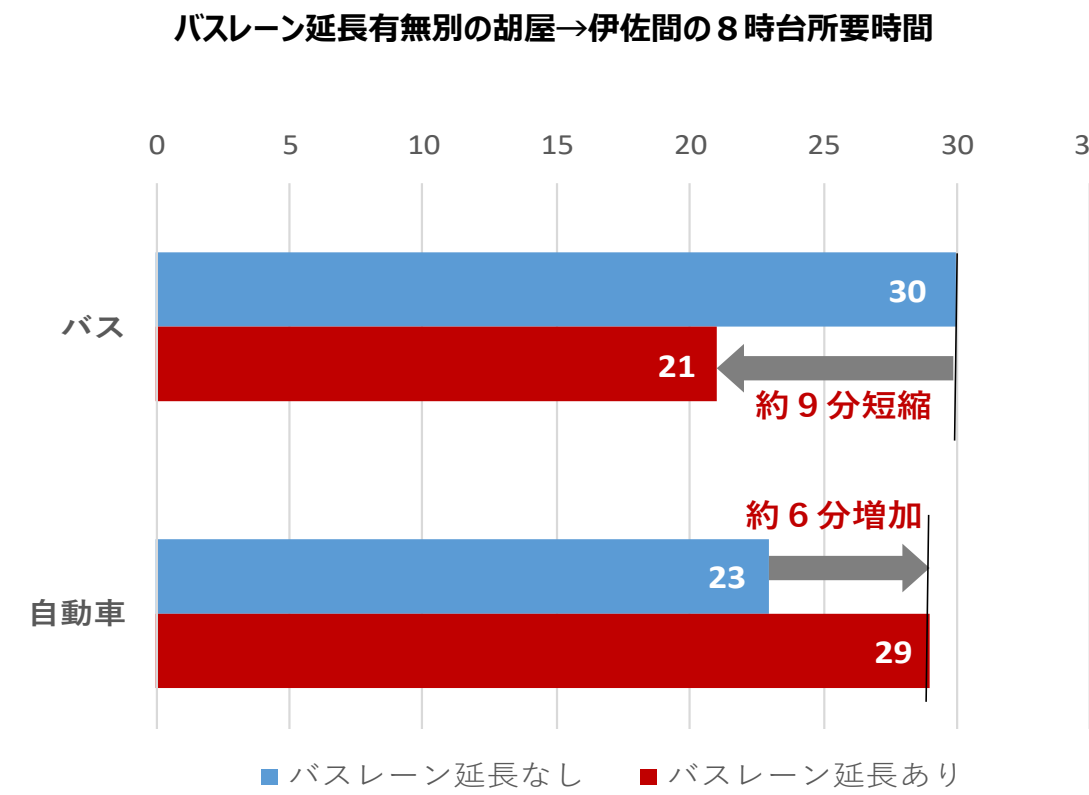
※事前調査実施予定箇所では、ピーク時間帯を含む7～11時、15～19時の方向別交通量（歩行者含む）、渋滞長、信号現示を調査予定（一部箇所では調査内容を変更する場合もある）



5. バスレーン延長WTについて

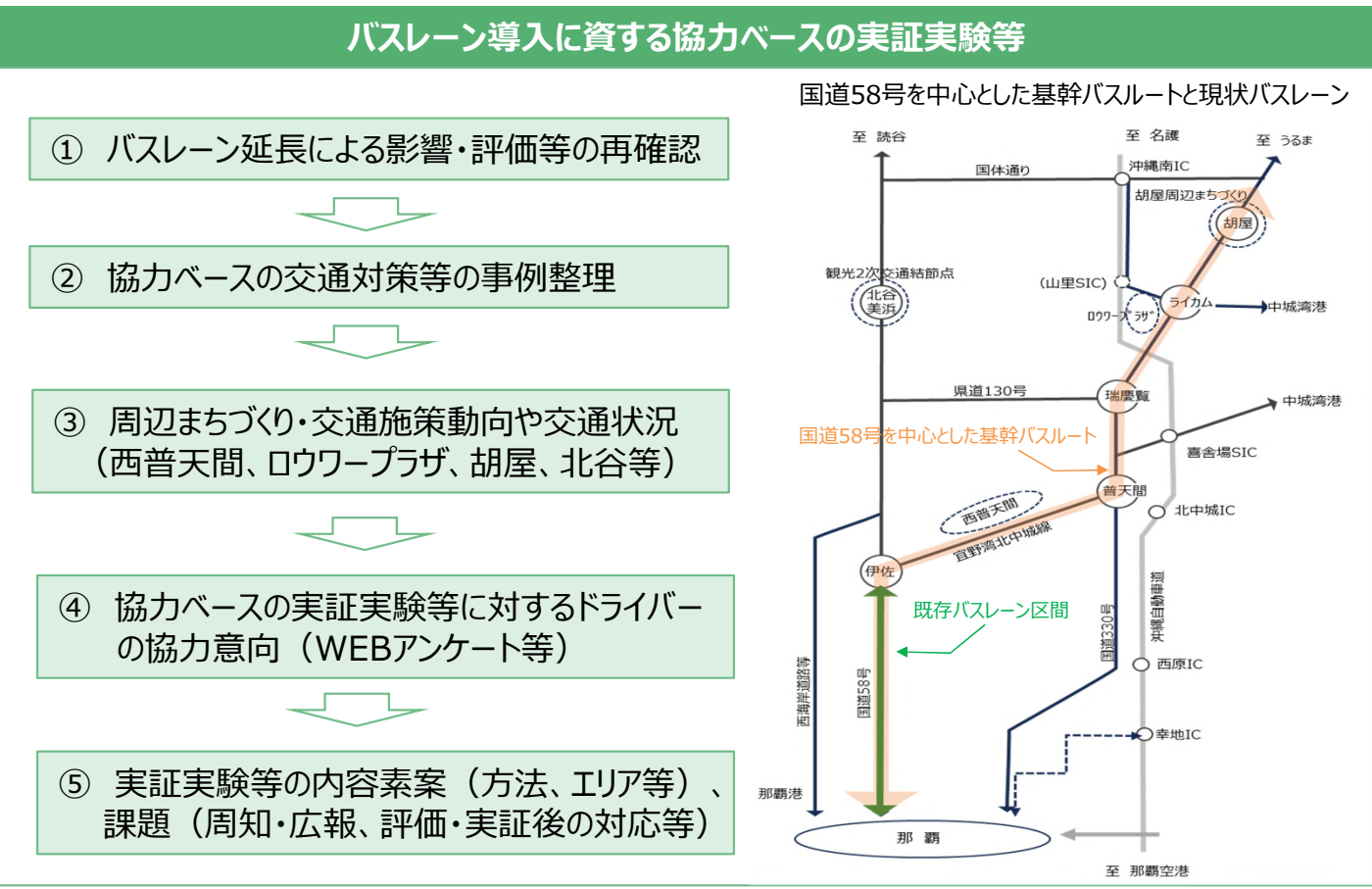
5-1 バスレーン延長時の影響と効果

- 過年度までの検討では、伊佐以北へバスレーン延長した場合、胡屋→伊佐間の朝ピーク時所要時間は、**バスが約9分短縮**され、**自動車が約6分増加**するなど、**バスの所要時間は自動車より短くなる効果を試算**してきたところである。
- 一方、特に**国道330号では1車線あたり交通量が増加**することから、**約300台/ピーク時程度の自動車交通量の低減・分散等が課題**として示されてきた（**総合的な施策の必要性**）。



※上記はいずれも県道の車線増加を考慮しているが、西普天間開発の影響未考慮時点のシミュレーション結果による。

- バスレーン延長WTを活用した関係機関との情報共有等を通して、バスレーン延長等に向けた取組を進めてきたが、これまで**“周辺を含めた道路交通への影響が大きい”、“規制は県民へ負担であり、バスレーン規制は最小限が望ましい”**との意見があったところである。
- 前回協議会では**“基幹バスシステムは、バスレーンの整備といったバスの定時速達性の確保につながる施策との一体的な展開が必要であるため、実際にバスレーンを運用してみる社会実験などを行いながら検証を進めることも検討してみてもどうか”**との意見があったところである。
- このため、今年度はバスの定時速達性の確保に向け、**バスレーン導入に資する協力ベースの実証実験等の検討**を行っていく他、併せて**自動車交通量の低減に向けた総合的な施策を検討・推進**していく予定。



自動車交通量低減に向けた総合的な施策

① バスレーン導入エリアを対象とした自動車交通量低減策の検討

- ・わった〜バス利用促進乗車体験事業の効果検証結果を踏まえたTDM（商業施設との連携、企業従業員向け乗車体験モニター、企業に対する継続的な通勤バス利用促進協議等）施策の検討
- ・沖縄自動車道の有効活用策等

② 国道58号沿線のバス網効率化に向けた検討（リソース不足と利便性向上の両面から検討）

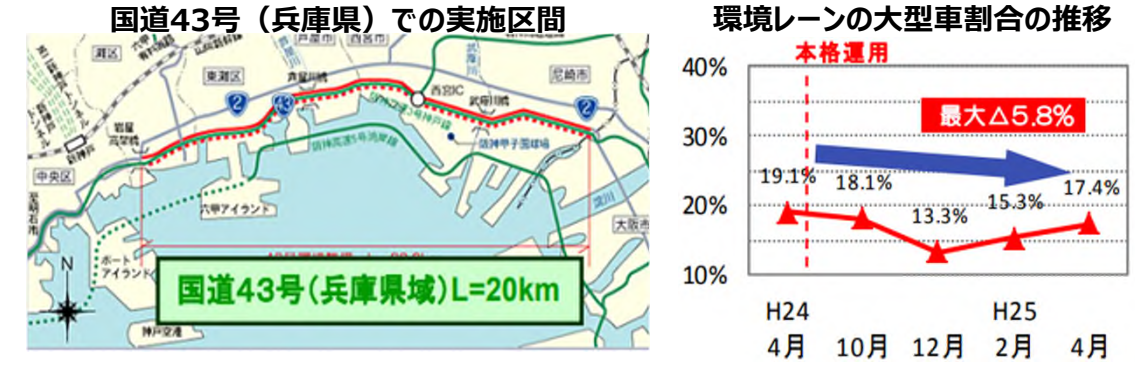
③ コスト負担軽減方法の検討（キャンパスMaaS活用、オフピークサブスク等）
※西普天間新規バス路線やMaaS関連事業とも連携

5-3 一定区間における協力ベースの事例

- 協力ベースの一定区間における実証実験等については、環境レーンやTOKYO2020大会時のORN（オリンピックレーン）等があげられ、自動車交通量の低減・分散等の一定の成果が報告されているが、総合的施策を含めた持続的な取組が重要。
- バスの走行性を高める施策としては、TDMによる自動車交通量の低減や、交通管理方策としてのPTPS（公共車両優先システム）等の事例以外に、既存車線の一定区間でバス走行性を高めている実証実験の取組事例が見られる。

幹線道路における環境レーンの事例

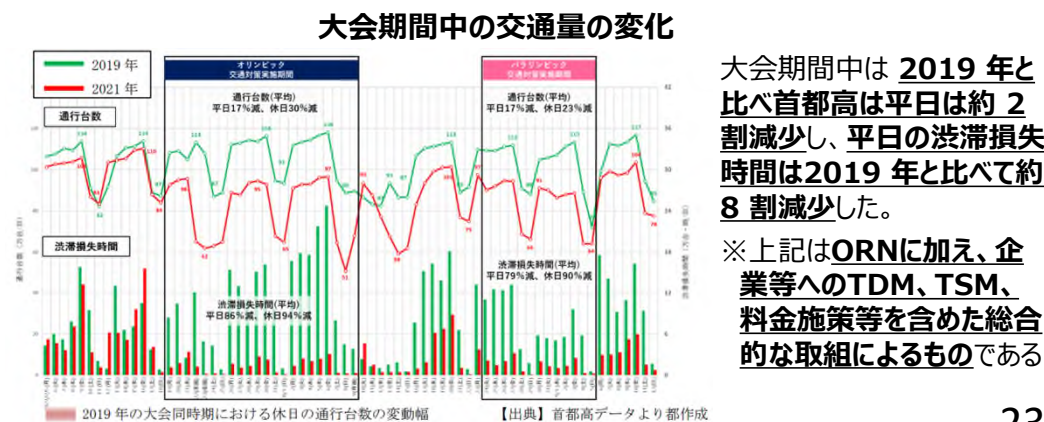
- ・国道43号では、沿道への騒音や大気環境負荷を低減するため、全国で初めて歩道寄り車線を「環境レーン」と設定し、大型車に中央寄り車線（第2～3レーン）の通行を促すなどの施策として「国道43号通行ルール（兵庫県域）」の運用を開始（H24.5本格運用）。
- ・大型車のドライバーに啓発するため、パンフレットの配布や様々な現地標示物を数多く設置。運用開始後は、環境レーンの大型車走行割合は総じて減少傾向となったとの事例。



出典：国土交通省HP

TOKYO2020大会時のORN（オリンピックレーン）の事例

TOKYO2020大会時には、ORN/PRN において、大会関係車両が通行する路線であることを、道路を利用する人に周知し、利用抑制や時間変更、駐車抑止等に協力いただくことを目的に、桜色の路面表示及び看板を設置した。これらはORN/PRNのうち、大会関係車両等専用レーン（以下「専用レーン」という。）及び大会関係車両等優先レーン（以下「優先レーン」という。）等の交通規制が行われないルートに設置した。なお ORN/PRN を示す路面表示と看板は、交通規制を表すものではない。



出典：東京2020大会における輸送の取組に関する報告書（東京都）

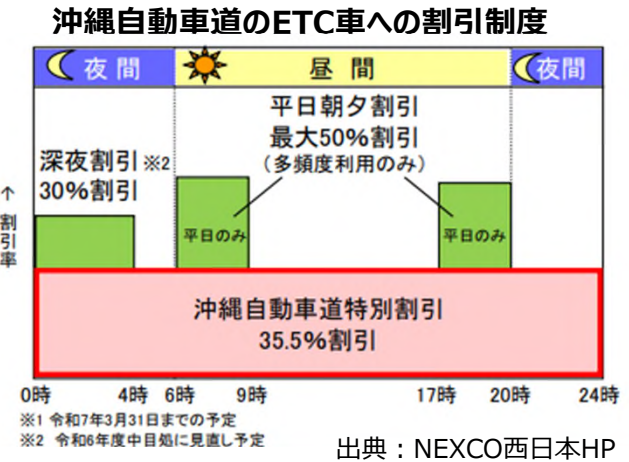
- 24

- 試合開催日における茨城県立カシマサッカースタジアム～潮来IC 間のバスの走行時間を短縮することによるバス定時性の確保を目的に、試合開催日におけるバス専用レーンの設置とそれに伴う自動車の迂回誘導を実施
- (主な内容) 【バス専用レーン区間①】(国道51号スタジアム前交差点～消防署南交差点)
- ・第2車線をバス専用レーンとして運用
- 【バス専用レーン区間②】(国道51号消防署南交差点～潮来IC)
- ・当該区間はバス専用 (一般車は原則走行禁止)



5-4 高速道路に関する施策事例

- 沖縄自動車道では、これまで**喜舎場SIC**（那覇方向のみ）が整備され、現在は**新規ICとして幸地ICや池武当IC**の事業が進められている他、那覇空港自動車道では**小禄道路の整備**が進められている。その他、沖縄ブロック新広域道路交通計画では**山里周辺等への新たなSICの予定**も示されている。
- 沖縄自動車道の料金は、現在**ETC車両への特別割引**や**平日朝夕割引・深夜割引**が実施されている他、ETC利用促進に向け**ETC車載器購入助成**を実施している。
- 一方、**国内では**“適用時間帯に関する条件の見直し等による多様化する勤務体系への対応”や“通勤時間帯に混雑している高速道路における前後の時間帯への分散”の必要性から、令和6年4月から**全国6道県（北海道、新潟県、山梨県、石川県、香川県、長崎県）**の各エリアにおいて**通勤パスの社会実験が実施**されている。



通勤パスの社会実験

【社会実験の内容】

<1. 通勤パスとは>

- ・曜日や時間帯にかかわらず、指定区間内を最大50%割引でご利用いただける割引です
- ・事前に車種・区間を指定してお申し込みいただくと、月初から月末までの1カ月間、1日3回までの走行に限りご利用いただけます

<2. 実施期間>

2024年4月1日(月)～2025年3月31日(月)

<3. 対象車両>

ETC無線通信により指定区間を走行する軽自動車等および普通車
(ETCクレジットカードおよびETCパーソナルカードのみ)

※ETCコーポレートカードでのご利用は対象外となりますのでご注意ください。
※現在試行を行っている石川県においても、2024年度以降は、対象車両が軽自動車等および普通車になります。

出典：国土交通省HP





6. わった〜バス利用促進乗車体験事業について



● わった～バス利用促進乗車体験事業 【9月4日スタート】



事業概要

- 路線バスの運賃を終日無料
- 9月4日（水）から29日（日）までの毎週水曜日と日曜日の計8日間
- 沖縄県内（離島含む）の一部を除く、ほぼ全ての路線バス及びコミュニティバスを対象とする。

※当日は現金投入やICカード等のタッチの必要はありません。
※混雑が予想されます、当日は時間に余裕を持ったご利用を。
※対象外のバス路線があります、詳しくは特設HPをご覧ください。

9月の水日
路線バス無料

2024年9月4日水スタート

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

わった～バス感謝祭
乗りほ～DAY
特設HP



乗りほ～DAY割

- バス無料の日の県民の外出機会の創出のため、主に商業施設等と連携し、無料バスを使って商業施設・飲食店等に出かけた方に特典を付与することで、バス利用と施設利用の双方を促進する企画「乗りほ～DAY割」を実施。
- 無料バス車内のQRコードからクーポンを取得し、対象店舗で提示して、特典を受けられる企画。

※対象店舗・特典内容は、特設HPをご覧ください。

無料バス × 商業施設等
乗車促進 来店促進

相互利用促進



【お問い合わせ】
交通政策課
098-866-2045

➤ 本事業を**事前に広く県民等に周知**するため、**テレビ、ラジオ、HP・SNS、チラシ・ポスター、市町村媒体などを活用**した各種広報を実施する予定。また、各地域で実施する**イベントとの連携、商業施設との連携等**についても調整を進めているところ。



沖縄県 沖縄バス

今日バスで 行かない？

公式WEBサイト



わった～バス感謝祭
乗りほ～DAY

9月の水曜日 路線バス無料

日	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

2024年9月4日(水) スタート

※当日は現金投入やICカードのタッチは不要です。※当日は混雑が予想されます。時間に余裕を持ってご利用ください。※対象外のバス・路線があります。詳しくは公式HPをご覧ください。バス無料 沖縄

2024年9月4日(水) スタート

2024年9月の水曜・日曜、沖縄県内の**路線バスが無料**になる！
2024年9月4日～29日の**水曜日・日曜日** (全8日間)

沖縄県内(離島含む)の一部を除く路線バス・コミュニティバス

※高速道路を走るバス、空港リムジンバス、予約型のデマンドバス、実証実験中のバス、定期観光バス、その他一部の路線は対象外です。

対象路線

沖縄本島地域
琉球バス・那覇バス・沖縄バス・東陽バス(111-113-117-123-127-152以外の路線)、やんばる急行バス四島線・パルコシティシャトルバス(カリー観光)・ウミカジライナー・ハーレー・エクスプレス(東京バス)・国頭村営バス(予約便除く)・なご丸(名護市)・鳳バス(読谷村)・沖縄市循環バス(沖縄市)・グスクめぐりん(北中城村)・護国丸バス(中城村)・Nバス(南城市)・うるま市公共施設間連絡バス(※通年無料)・東村コミュニティバス(※会員登録のうえ、通年無料)

沖縄本島周辺離島
伊江島観光バス・アニー号(粟国村)

久米島
久米島町営バス

宮古地域
八千代バス・宮古協栄バス(9番除く)・共和バス・多良間村営バス

八重山地域
東運輸・石垣路線バス(カリー観光)・西表島交通・与那国生活路線バス(※通年無料)

対象外の路線

沖縄本島地域
路線バス(111-113-117-123-127-152)・やんばる急行バス空港線・ヒルトン沖縄湖底リゾート直行バス(やんばる急行バス)・空港リムジンバス(沖縄バス)・北谷ライナー(カリー観光)・琉球ホテル&観光ホテルエアポートリムジン(東京バス)・沖縄エアポートシャトル

真和志地域集合タクシー(鏡原第一交通)・C-BUS(北谷町)・いとちゃん mini(糸満市内周遊バス)・おでかけなんじい(南城市)・国頭村営バス(予約便)・空港・北谷ノンストップバス(琉球バス・沖縄バス・カリー観光)・北谷直行シャトルバス(東京バス)・うるま市四島経由循環バス(平安座総合開発)

沖縄本島周辺離島
りかりか号(粟国村)・伊平屋村コミュニティバス・座間味村営バス・とかしき観光バス

宮古地域
空港リムジンバス・みやこ下地島空港エアポートライナー(中央交通)・宮古協栄バス(9番)

八重山地域
竹富島交通・コハマ交通

無料バスの乗り方

01



乗車する時に整理券をとる

02



そのまま回収箱に整理券を入れる

整理券のないバスはそのままご乗車ください

ご注意

※当日は現金投入・ICカード等のタッチの必要はありません。
※混雑が予想されます。当日は時間に余裕を持ったご利用を。

沖縄県 沖縄バス

お問合せ先: 沖縄県企画部交通政策課 陸上交通班
電話: 098-866-2045 (対応時間平日9:00～17:00)

公式WEBサイトはこちら



わった～バス感謝祭
乗りほ～DAY
特設サイト



6-3 アンケートモニター・乗りほ〜DAY割

- 本事業では、通勤時に自家用車を使用していて、わた〜バス利用促進乗車体験事業の期間中は、路線バスを含む公共交通機関で通勤を検討される方を対象として、アンケート調査を実施（
- また、バス無料の日に、無料バス利用者をターゲットに主に県内の商業施設等で利用できるクーポンを発行し、県民のバス利用及び県内施設への来訪の双方を促進することを目的とした「乗りほ〜DAY割」を実施。
- 「乗りほ〜DAY割」は、無料バスの利用者にクーポンを発行し、お出かけ先の対象施設でクーポン画面を見せると、割引などの特典を得られる企画。

アンケート調査 モニター募集

わた〜バス利用促進乗車体験事業 アンケート調査 モニター募集

沖縄県では、県民に路線バスを利用する機会を提供することで、車にはないバスならではの良さを体験してもらい、過度な自家用車利用から適度なバス利用への転換を促進することを目的として、9月4日(水)から29日(日)までの毎週水曜日と日曜日に、路線バスの運賃を終日無料とする乗車体験事業を実施します。

通勤時に自家用車を使用していて、わた〜バス利用促進乗車体験事業の期間中は、路線バスを含む公共交通機関で通勤を検討される方を対象として、アンケート調査を実施します。アンケート調査のモニターとして、ご協力いただける方を募集しております。



9月の水曜日
路線バス無料
2024年9月4日(水)〜29日(日)



https://bus-moniho.com/

わた〜バス利用促進乗車体験事業概要は、こちらより確認いただけます。

乗車体験前

事前アンケート
(8月上旬開始予定)
※回答締切: 9月3日(火)



QRコードを読み取り、ご回答ください。
(回答時間は5分程度です)

乗車体験後

事後アンケート
※回答締切: 10月4日(金)

事前アンケートにご協力いただいた方のメールアドレス宛に、事後アンケートのURLをお送りいたしますので、ご回答ください。
(回答時間は5分程度です)

来年2月頃

モニター調査の結果の報告(各種事業のホームページ及びチラシ)

本事業に関するお問い合わせ先

【わた〜バス利用促進乗車体験事業に関するお問合せ先】
沖縄県 企画部 交通政策課 098-866-2045

【アンケート調査に関するお問合せ先】
一般財団法人 計量計画研究所 03-5990-9362 (担当: 上野、和泉)

乗りほ〜DAY割の実施

無料バスで街もお得に! 乗りほ〜DAY割

沖縄県では、2024年9月に実施するバス無料の日に、無料バス利用者をターゲットに主に県内の商業施設等で利用できるクーポンを発行し、県民のバス利用及び県内施設への来訪の双方を促進することを目的とした「乗りほ〜DAY割」を実施します。

「乗りほ〜DAY割」とは

無料バスの利用者にクーポンを発行し、お出かけ先の対象施設でクーポン画面を見せると、割引などの特典を得られる企画です。クーポンはバス内に掲示されたQRコードを読み込んで、簡単なアンケートに答えると獲得することができます。

わた〜バス感謝祭 乗りほ〜DAY! 乗りほ〜DAY割!

2024年9月4日(水)〜9月29日(日)の水曜日・日曜日 ※合計8日間

よくあるご質問

Q1. 乗りほ〜DAY割の対象施設はどのように調べればよいですか?
A. ホームページ「乗りほ〜DAY割 対象施設をさがす」から調べられます。

Q2. 乗りほ〜DAY割はいつ利用できますか?
A. 無料バスの運行日当日のみご利用いただけます。
対象施設によっては利用日を限定している場合もあります。
ホームページ「乗りほ〜DAY割 対象施設をさがす」よりご確認ください。

Q3. 無料の日以外でも乗りほ〜DAY割を利用できますか?
A. 乗りほ〜DAY割はバス無料の日以外では利用できません。

Q4. QRコードはどこにどのように設置されているのですか?
A. バス社内(窓部分)にA5サイズのステッカーが設置される予定です。
ステッカーは9月中は必ず設置されていますが、無料DAY以外の日はクーポンは表示されません。

〇 現時点で、100施設以上が登録されております。



※ なお、上記は登録施設の例であり、他にも各地域に多数の登録施設があります。なお、対象店舗・特典内容の詳細は特設HPをご確認ください。

乗りほ〜DAY割の実施店舗の一例

アメリカンデポ

スーパー・ショッピングモール・小売店

住所 | 中頭郡字美浜9-2

電話番号 | 098-926-0888

特典内容 | 3000円以上お買い上げで、エアフレッシュナープレゼント

受取方法 | レジにて、3000円以上のお買い上げ時に、QRコードを提示

クーポン利用可能日 | 9/4 9/8 9/11 9/15 9/18 9/22 9/25 9/29

イオンスタイル豊崎

スーパー・ショッピングモール・小売店

住所 | 豊見城市豊崎3番35

電話番号 | 098-996-1315

特典内容 | 1. 未店粗品 (各店無くなり次第終了) 2. スタンプラリー (商品無くなり次第終了)

受取方法 | サービスカウンターでクーポンを提示

クーポン利用可能日 | 9/4 9/8 9/11 9/15 9/18 9/22 9/25 9/29

タウンプラザかねひで 宜野湾店

スーパー・ショッピングモール・小売店

住所 | 宜野湾市赤道2丁目5番地1号

電話番号 | 098-893-3096

特典内容 | かねひでEdyカードでEdy決済すると楽天ポイント5倍進呈

受取方法 | レジにてクーポン画面を提示し、バーコードスキャンで進呈

クーポン利用可能日 | 9/4 9/8 9/11 9/15 9/18 9/22 9/25 9/29

DMMかりゆし水族館

美術館・博物館・文化施設

住所 | 豊見城市字豊崎3-35

電話番号 | 098-996-4844

特典内容 | クーポンを提示された方のみ入館料を3割引させていただきます。

受取方法 | DMMかりゆし水族館の有人窓口にて、クーポンを提示していただく。

クーポン利用可能日 | 9/4 9/8 9/11 9/15 9/18 9/22 9/25 9/29

➤ **本事業による幅広い効果を把握**するため、バス事業者や関係機関等の協力を得ながら、**様々な調査・分析を実施予定**。

